



今から 30 年程前にステビアと出会い、その可能性に魅せられ、20 億円を超える巨額の私財をステビアの研究につき込みステビアの世界普及のために全身全霊を傾けてきました。1988 年に株式会社 JBB ステビア研究所を立ち上げ、東北大学千葉大学といった各大学や大阪府立衛生研究所などの研究機関に依頼して様々なエビデンスを作り上げてきたステビア研究の第一人者です。2007 年にはステビアへの貢献が認められ、ステビアの母国パラグアイのドゥアルテ大統領からパラグアイの最高勲章を授与される約束をいただきました。

主な著書に ステビアパワー革命 (発行:ダイヤモンド社)

ステビア草の神秘 (発行:青春出版社)

日本食糧革命 (発行:プレジデント社) などがあります。

松木: まず最初にステビアとの出会いについてお伺いします。

佐藤: ステビアへの興味は、ミカンの木から始まりました。誰も見向きをしないような不味いミカンの木があったのですが、そこに子どもたちが群がってその不味いはずのミカンを食べていました。何が原因なのかと思い良く見ると、葉っぱをとった後のステビアの茎がミカンの木の根元に捨ててあり、それが月日と共に堆肥化され浸透し、ミカンを美味しくしていたことがわかったのです。葉っぱの部分で農作物に甘みを出すのに試行錯誤していた時に、茎の部分にその効果があると分かり、農業分野で結果が出るのだからどの分野でも有効だろうと確信しました。なぜエキスにしたかと言うと、粉は浸透しないため土壌を潤すことができませんが、エキスならばそれが出来、どの分野でも応用できると考えたからです。

松木: ステビアの研究開発に 30 年近くかけてこられた中で大変だったことは何ですか?

佐藤: どれも大変でしたが、一番大変だったのは、たとえば農業分野では野菜や果物は何百種類もある中、どの野菜や果物に使ったらどの様な結果がでるのかを、何年もかけて試験を重ね、エビデンスを積み重ねてゆかなければなりません。しかも 1 箇所だけでは証明にはならないため、気候風土の違う日本中の色々な地方で試験してゆかなければなりません。漁業の分野も同時進行で始めていましたが、あらゆる養殖を、これもやはり一時的なデータではなく、2 年 3 年とデータを積み重ねていきました。それから林業分野です。例えばマツノザイセンチュウが原因で起こる松枯れに、ステビアを与えることによって松の免疫力が増し、枯れた松の木がことごとく蘇生してゆくという驚く結果が出たのです。また、モンパ病と言う樹木の伝染病がありますが、この病に侵された樹木に対してステビア堆肥をたっぷりかけたところ、腐っていた木が蘇り、新しい根がどんどん出てきました。ステビアによるこの結果に匹敵する薬は未だに開発されておりません。このように、やればやるほど色々な分野で答えが出てきた時、ステビアには無限の可能性があると益々確信しました。

松木: ステビアの魅力とは?

佐藤: きりが無いのですがエイズウイルスの抑制や鶏インフルエンザ、O-157、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ等に結果を示します。そしてステビアは悪い菌を殺すけれども有用菌を殺しません。しかし、今の薬は有用菌も有害菌も全て殺してしまいます。それから今アフリカで問題になっているエボラ出血熱、ステビアはこのエボラ出血熱にも有効であるという研究結果が上がっていると聞きます。ステビアは、医薬品分野で研究していったら未恐ろしいほど色々なことが出てくるのではないかと思うのです。ステビアは免疫機能を高めるし、色々な病気から身体を守ってくれます。

松木: 弊社では現在、ステビアの海外普及に力を入れており、こちらが爆発的に大きくなりそうです。海外でもステビアは大活躍すると確信いたしますが、佐藤社長の中では、どの国のどのような分野での普及を特に力を入れたいとお思いでしょうか。

佐藤: アメリカだったらサプリメントが一番ではないでしょうか。サプリメントは沢山摂っているでしょうし、通販やネット販売に慣れている国民性ですし、その醍醐味も知っているでしょう。それから中国は富裕層が多いので、マーケットとしては大きな可能性を秘めていると思います。そして、世界中で問題となっている農地の塩害についてもステビアがこれを解決してくれると確信しています。私はこれまで命をかけてステビアの研究をしてきました。日本できちんとしたデータと売れる根拠をつくりあげれば、世界にとっても人類にとっても物凄く有益な成果になると確信します。ステビアは、研究すればするほど次から次へとどんどん結果が出るもので可能性は無限大です。それほど究明されていない力がまだまだ沢山あるのです。

松木: 最後に佐藤社長からプロティオスの会員の皆様にメッセージをお願いいたします。

佐藤: 何よりも、ステビアのファンになってくださっていること自体、とても有り難く思います。私はこれを日本津々浦々、そして世界中に広げたいと最初から考えていました。ですから、このようにファンでいてくださることは本当に嬉しいことですし、プロティオスさんの海外普及活動に大いに期待し、また協力させていただきたいと思っております。巷には、たった 1~2 ヶ月だけ発酵熟成させたステビアエキスを抗酸化力があると言って販売している会社があると聞きますが、30 年近くステビアエキスを研究してきた第一人者としての自負を持った私に言わせれば、それはありえないことです。ステビアの抗酸化力は、最低でも 1 年から 2 年は、じっくりと発酵熟成させたものだけが持つ自然の力です。その意味ではプロティオスさんの扱っている商品は本物の原料を使っているのですし、今後はプロティオスさんと私とで協力して、ステビアエキスを自社製造してゆくことに決定しましたので、今後ともステビアのファンとして末永くご愛用いただきたいと思います。ステビアを飲むことによって科学的に証明されている抗酸化活性、免疫機能増大、病原菌から身体を守るなどの力によって若々しく在り、また長生きしてゆけると私は考えています。ステビアにはまだまだ解明されていない部分が沢山ありますが、癌が消えた例も多々ありますし、また抗がん剤による苦痛もステビアで半減したという声も多々あります。この無限大とも言えるステビアの可能性を知ってくださっている皆様の健康と幸せを、心からお祈り致します。

編集後記:

この対談内容は佐藤直彦氏が長年ステビアの研究を続けてきた上での見解です。この内容が株式会社プロティオスの商品の効果効能を謳うものではありません。